

2010年2月10日
株式会社日立製作所

エンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」に 最新の POWER7™プロセッサ搭載モデルを追加、販売開始



「EP8000 780、770、750」
(POWER7™ 搭載)

株式会社日立製作所(執行役会長兼執行役社長:川村 隆/以下、日立)は、このたび、高性能・高信頼なシステム向けのエンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」に、最新の POWER7™プロセッサを搭載したハイエンドサーバ「EP8000 780」、ミッドレンジサーバ「EP8000 770」「EP8000 750」を追加、「EP8000 750」は2月12日から、「EP8000 780」「EP8000 770」は3月31日から販売を開始します。

最新プロセッサの搭載により、現行モデルと比較して「EP8000 780」は最大約 1.2 倍、「EP8000 770」、「EP8000 750」は最大約 4 倍のトランザクション処理性能向上を実現しました。そのほか、現行モデルと比較して、「EP8000 780」では性能あたりの消費電力量を最大約 80%削減し、さらに省電力なシステムの構築を可能としたほか、「EP8000 770」では価格性能比を約 6 倍に向上し、費用対効果の高いシステムの構築に貢献します。

エンタープライズサーバ「EP8000 シリーズ」は、システムとしてメインフレームクラスの信頼性と可用性を備えた UNIX サーバで、金融機関をはじめとした企業の基幹業務システムや、電力、交通といった社会基盤システムに多くの実績があります。基幹業務システムで実績のある統合システム運用管理「JP1」をはじめとする日立オープンミドルウェア製品に加え、Oracle 社の DBMS^(*1)製品や、SAP 社の ERP^(*2)製品など豊富な ISV^(*3)製品に対応しています。また、日立独自の高速系切替機能^(*4)や日立ディスクアレイサブシステムとの連携機能などの高信頼化機能を実現するとともに、安定稼働に役立つ情報提供サービスや AIX^(*5)予防保守パッチ提供サービスなどの高信頼なサポートサービス提供を継続することで、企業、社会の情報基盤システムの安定稼働を支援しています。

*1 DBMS :Database Management System

*2 ERP :Enterprise Resource Planning

*3 ISV :Independent Software Vendor

*4 高速系切替機能 :サーバに何らかの障害が発生した場合に、すばやく現用系から待機系のサーバに切り替えることを実現する機能

*5 AIX :オープンかつ高信頼な、UNIX 環境のアプリケーションが利用可能な OS

■新製品の特長

1. ハイエンドサーバ「EP8000 780」

「EP8000 780」は POWER7™(3.86GHz)を最大 64way まで搭載可能なハイエンドサーバです。POWER6™を搭載した現行モデル「EP8000 595」に比べ、トランザクション処理性能を最大約 1.2 倍に向上しています。また、性能あたりの消費電力量を最大 80%削減しており、システムの省電力化にも貢献します。加えて、POWER7™の新機能である TurboCore™モード^(*6)を活用することにより、コア単位の性能が求められるデータベース処理などを最適な方法で処理することができるため、処理時間を短縮することができます。

以上により、従来に比べさらに、データベースやオンライントランザクション処理システムなど、大規模な基幹業務システムに最適な、優れた処理性能を実現しました。

*6 TurboCore™ モード : プロセッサチップ内の動作コア数を半分にする一方で、動作しているコアの周波数を引き上げ、コア単体性能を向上させる機能。モード使用時の、コアの動作周波数は 4.14GHz

また、現行モデルに比べ、設置面積を約 50%、重量を約 80%削減するとともに、200V 単相^(*7)の電源を採用したことで、導入、設置がさらに容易になりました。

*7 単相 : オフィス等の一般的な配電盤から供給可能な低圧配電方式

2. ミッドレンジサーバ「EP8000 770」、「EP8000 750」

「EP8000 770」は POWER7™(3.1GHz)を最大 64way まで搭載可能な、上位のミッドレンジサーバです。POWER6+™を搭載した現行モデル「EP8000 570」と比べ、トランザクション処理性能を最大約 4 倍に向上し、ハイエンドモデルにせまる高い処理性能を実現しています。また、メモリ容量を現行モデル比約 2.7 倍の最大 2,048GB(ギガバイト)まで増強できるなど、処理性能に加えてシステムの拡張性も強化しました。あわせて、現行モデルと比べ価格性能比を約 6 倍に向上した本モデルを活用することで、よりいっそう費用対効果の高いシステムの構築が可能となります。

「EP8000 750」は POWER7™ (3.0GHz/3.3GHz)を最大 32way まで搭載可能な、下位のミッドレンジサーバです。POWER6+™を搭載した現行モデル「EP8000 550」に比べ、トランザクション処理性能を最大約 4 倍に向上するとともに、メモリ容量を 2 倍となる最大 512GB まで増強できるようになりました。

以上の強化により、企業における中小規模の業務システム、データベースやオンライントランザクション処理システムなどに適した、高い性能と柔軟な拡張性を提供します。

■新製品の概要

モデル	形状	プロセッサ (周波数)	最大プロセッサ数 (way)	メモリ容量
EP8000 780	ラックマウント	POWER7™ (3.86GHz)	64	16~2,048GB*
EP8000 770	ラックマウント	POWER7™ (3.1GHz)	64	16~2,048GB*
EP8000 750	ラックマウント	POWER7™ (3.0/3.3GHz)	32	32~512GB

*2,048GB サポートは、2010年12月を予定(12月以前は、最大メモリ容量1,024GBまでサポート)

■新製品の価格と出荷時期

モデル	価格	出荷時期
EP8000 780	4,021万5,210円～ (税抜 3,830万200円～)	2010年6月30日
EP8000 770	1,769万4,180円～ (税抜 1,685万1,600円～)	
EP8000 750	1,109万9,340円～ (税抜 1,057万800円～)	2010年3月31日

■他社商標注記

- ・AIX、IBM は、米国における米国 International Business Machines Corp.の登録商標です。
- ・POWER6、POWER6+、POWER7、TurboCore は、米国における米国 International Business Machines Corp.の登録商標です。
- ・UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・Oracle は、Oracle Corporation の登録商標です。
- ・SAP は、SAP AG のドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■製品情報

<http://www.hitachi.co.jp/EP8000/>

■製品に関するお問い合わせ先

HCA センター 電話:0120-2580-12 利用時間 9:00~12:00、13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
